

FrontISTR研究会の構想(1/2)

ねらい

- 公開版FrontISTRの利用、メンテナンス、改良が長期間にわたり持続することを目的とし、情報交換および産官学マッチングを図る場を提供する。
- ユーザー会のワークを通じてソフトや資料のpolish-upを行い、成果を出版する。
- 2種類のユーザーを対象とする
 - プログラムの中味を理解し、改良して利用しようと考えているユーザー
 - マニュアルに従って利用するエンドユーザー

運営側の体制

- これまでのFrontISTR関係者を中心に、生研CISS、産学協会の協賛アクティビティ(日本計算工学会GreenCAEプロジェクト、ほか打診中)をゆるく包含するコミュニティからの協力者を母体にする
- 当面(一巡するまで)は、自由参加の会員とボランティアの運営メンバーで構成、その後、会員登録制に移行。

活動内容

- セミナー開催 + WEB上に資料やデータをアーカイブ
- セミナー(チュートリアル、話題提供、Hands on) 1~2ヶ月に1回
- 内容は、実践編、理論編、プログラミング編、産業応用編、の題材を適宜織り交ぜる
- 「実践編」 エンドユーザーの立場からの使い方の解説やhands on。プログラマー式のダウンロード、コンパイル、入出力データ、例題解析、可視化、など
- 「理論編」 プログラムの背景にある理論、固体力学、各種非線形解析、有限要素法、並列計算手法、連立一次方程式の解法、など
- 「プログラミング編」 理論編の内容がどう実装されているかの解説、FrontISTRを改良して使えるようになる程度までのプログラム解説
- 「産業応用編」 実機問題への適用例の紹介、共同研究テーマにつながる話題提供、など各種の情報交換
- 外部資金獲得のためのプロジェクト立案